

# 薩摩おごじよ

## 勝負はワクワク楽しんだもん勝ち！

3月末というのは別れの季節とも言われますが、今年は鹿女子ソフトボール部にとって、とても寂しい季節となりました。平成25年4月より11年間、鹿女子ソフト部の監督として率いてこられた平山勇樹先生と令和4年4月から副部長としてチームを支えてこられた村田彩樺先生がチームを去ることになりました。平山先生は男子で14年間（鹿屋農業高校7年、隼人工業高校7年）指導した後、平成25年に本校に赴任しました。赴任してすぐの県春季大会で優勝し、その後も九州大会で上位進出するなどその手腕は九州だけでなく全国でも知られる存在でした。特に令和元年以降はチームも成熟し、秋の県新人大会で7年ぶりに優勝し、全国選抜大会の出場権を獲得しました。（新型コロナウイルス感染拡大のため全国大会中止）令和2年度は県総体が中止となり、代替試合（メモリアルマッチ）でも再び優勝しました。令和3年度は11年ぶりに県総体を制し、インターハイでベスト16進出を果たしました。さらに、令和4年度は秋の県新人大会で宿敵神村学園との激闘を制し、地元鹿児島市で開催された全国選抜大会では本校初のベスト8進出を果たし、新たな歴史を築かれました。令和5年度は4月の県春季大会も優勝し、もう一度全国への想いで臨んだ県総体は球史に残る熱戦の末、惜しくも敗れました。しかし、4年ぶりに全校応援が復活し、決勝は両校とも学校が一つになって大声援の中試合をすることができ、素晴らしい思い出となりました。また、今年度は新型コロナウイルス感染拡大による延期を乗り越え、ようやく開催された燃ゆるかごしま特別国民体育大会が南九州市で開催され、その記念すべき少年女子監督を平山先生が務められました。結果は優勝した千葉県に0対1の惜敗でしたが、地元開催の緊張感の中、3校から選抜された選手をまとめ上げ、最後まで手に汗握る戦いを応援に来ていただいた方々に見せていただきました。4月より以前率いた鹿屋農業高校へ転動することとなりました。12年ぶりに男子ソフトボールを指導されるということで、さらに鹿児島県の高校男子ソフトボールのレベルが上がるのではないのでしょうか。



村田先生は平山先生が本校に赴任した年から3年間、平山先生の指導を受けた生粋の平山チルドレンで、選手時代は副主将としてチームの中心選手だったそうです。令和4年度から生活科学科の実習助手として赴任し、ソフト部の副部長として部員のお姉さんのような存在として本当に尽力していただきました。私も村田先生と一緒に赴任して平山先生をサポートする立場で鹿女子ソフト部のことを誰よりも知っている村田先生の存在は、とても心強かったです。部員からの信頼も絶大で、部活動だけでなく学校生活から私生活まで良き相談相手としてもチームに欠かせない方でした。これからも鹿女子ソフト部のことを末永く応援していただけるように頑張っていきます。

最後に、現チームより平山先生から監督を引き継ぎ、改めて鹿女子ソフト部が鹿児島県高校女子ソフトボール界で何を求められているかを日々考えながら指導しています。これまで多くの指導者が次世代に繋いできた鹿女子ソフト部を私も強い覚悟を持って部員たちと真剣に向き合いながら、更なる高みを目指して頑張っていきます。

## 小学生と初めての合同練習！

3月20日に初めての試みとして、学童野球チーム：建昌なぎさベースボールクラブ（略称：建なぎ）と合同練習を行いました。以前より建なぎの山崎監督より打診をいただいており、今回ようやく実施することができました。軟式野球とソフトボールということで競技も違いますが、小学生と高校生が交流を深めることになるとともに、初めてソフトボールという競技に触れることで興味をもってもらい、将来この中からソフトボールをする選手が1人でも出てきてくれたら嬉しいです。本校ソフト部員にとっても小学生と一緒に練習することで、コミュニケーション能力を高めるきっかけとなり、どの練習も一生懸命に取り組む小学生をみて、初心に帰ることができました。

このような企画を今後も続けていき、お互いが相乗効果でレベルアップしていきたいです。



ウォーミングアップから元気いっぱい！  
ラダーも楽しく全力で取り組んでました！

キャッチボールは一番の基本！みんなで声を出し合い、思いやりをもって行いました

練習の最後に指導者やお父さん方とソフトボールで真剣勝負を楽しみました！